

8 異体字

漢字の字体のうち標準字体以外のものを「異体字」といいます。異なる字体を持ちながら、同一の字音・字訓を有して全く等しいものとして交替使用しうる文字のことです。

異体字の種類 I

- (1)略字 字画を省略したもの。曆・歴→厂、幅→巾など
- (2)合字 2字を合成したもの。麻+呂→磨、菩+薩→**苜** など
- (3)分字 1字を2字に分割したもの。米→八木など
- (4)古字 古文ともいう。篆(てん)書以前の古体字。礼のように常用漢字に採用されたものもある。
- (5)俗字・通字・国字 世間に通用している正式でない字体。

① 同じ構成要素をもつが、その配置が異なるもの

隣-鄰 峰-峯 鑑-鑿 慚-慚 裏-裡 松-柗 島-嶋-寫

②異なる音符(音読みを表す部品)を使ったもの

棲-栖 麪-麵 筍-笋 窰-窑 鐵-鉄(鉄は別字)

③異なる意符(形声文字のカテゴリー(意味、分野、種類)を表す部品)を用いたもの

効-效 秘-祕 嘆-歎 収-收 罰-罰 考-攷 恥-耻

④一方が形声(意符に同音の音符を伏して漢字を作ること)で作られ、一方が会意(二つ以上の漢字を組み合わせ、その意味を合成して独立した漢字を作ること)で作られたもの

涙-泪 巖-岩 逃-逃

⑤会意や形声の仕方が異なり、字体上の共通項もないもの

體-体 同-仝 村-邨

⑥略体・書き癖・運筆の連綿などによって生じたもの、竹冠と草冠、「口」と「ム」などは相互置換される例が特に多い。

※日本で作られた国字には、峠(とうげ)・榊(さかき)・畑・辻・扱(さて)・迎(とて)など古く作られたものと、西洋文明の影響で近代に作られた隣(スイ)・腺(セン)・砵(キログラム)・靱などがある。会意で作られ音読みを持たないものが多いが、働(はたらく・ドウ)のように音があるものもあり、鋌(ビョウ)・鯨(コウ)など音のみのものもある。

(6)譌(か)字 誤字と認められるもの

主要な異体字

あ 哀=哀 惡←惡=惡
 い 異=異 違←違=違
 壹←壹=弍 引=引
 因=因 寅=寅
 隱←隱=隱 院=院
 え 永=永 亦=亦
 役=役 炎=炎
 煙←烟=烟 偃=偃
 掩=掩 淵=淵
 お 於=於 恩=恩
 穩←穩=穩

か 臥=卧 峨=峨 刈=刈
 怪=恠 海←海=海 堺=堺
 解=解 解 害←害=害
 蓋=盖 蓋 隔←隔=隔
 覺←覺=覺 鶴=鶴
 樂←樂=乐 学←學=学
 割←割=割 干=干
 卷←卷=卷 看=看
 幹=幹 寬←寬=寬 翰=翰
 還←還=還 関←關=關
 觀←觀=觀 雁←鴈=鴈
 願=願 願 願

き 企=企 癸=癸 喜=喜
 幾=几 棄=弃 毀=毀
 綺=綺 婦←歸=婦 皈
 櫃=櫃 乞=乞
 迄←迄=迄 健 訖=訖
 喫←喫=喫 橘=橘 朽=朽
 旧←舊=舊 去=去
 墟=墟 叫←叫=叫 京=京
 協=協 況=况 胸=胸
 喬=高 強←強=強 篋=篋
 競=競
 く 区←區=區
 け 契←契=契 計=計
 徑←徑=徑
 卿←卿=卿 逆←逆=逆
 兼←兼=兼 乾=乾
 堅=堅 獻←獻=獻
 經←經=經 詣=詣
 迎←迎=迎
 こ 虎=虎 壺←壺=壺
 箇=箇 何力村などの力は箇の仮名読み
 呉←吳=吳 弘=弘
 岡=岡 後=後 候=候
 荒=荒 溝←溝=溝
 剛=剛 号←號=號
 刻=刻 国←國=國
 綱=綱 興=興
 国字 花=花 顧=顧 互=互

さ 差=差 坐=坐 座=座
 再=再 災=灾 最=最
 蓑=蓑 朔=朔
 殺←殺=殺 三=三
 杉=杉 參←參=參
 算=算
 し 四=四 旨=旨
 刺=刺 刺 祇=祇 紙=紙
 事=事 時=時
 爾=爾 尔 失=失 疾=疾
 悉=悉 漆=漆 蛇=蛇
 州=州 秋=秋
 修=修 臭←臭=臭
 執=執
 衆←衆=衆 充=充
 叔=叔 淑=淑 熟=熟
 出=出 閏=閏
 所←所=所 書=書
 処←處=處 召=召
 匠=匠 承=承 昇=昇
 松=松 笑=笑 訟=訟
 詔=詔 傷=傷 獎←獎=獎
 称←稱=稱 賞=賞
 丞=丞 条←條=條
 飾←飾=飾 職=職 臣=臣
 森=森 尽←盡=盡
 す 垂=垂 雖=雖
 せ 是=是 世=世 盛←盛=盛
 勢=勢 寂=寂
 跡=跡 積←釋=釋
 節←節=節
 攝←攝=攝 千=千